

コロナ下での意志決定

トップはいかに決断したか

⑪

静岡産業大学(鷺崎早雄学長、経営学部・情報学部・2021年4月スポーツ科学部開設)は、静岡県の磐田市と藤枝市にキャンパスを設置する。静岡県では、2月28日に初めての新型コロナウイルス感染症患者が発生し、陽性者は累計564人である。(10月7日現在、静岡県はウエブサイトより)。このような中、同大学では5月7日より全授業オンライン、6月4日より基本的にはオンラインを中心に一部の対面授業を開始した。鷺崎学長に聞いた。



鷺崎早雄学長

——最も重要な意思決定はなんでしたか。

「コロナ禍において本学学生・教職員の健康を守り、キャンパスの安全を保ちつつ大学教育を継続する」という方針を全学に示すことでした。

これは一つの施策を決定すれば済むものではなく、幾つもの施策を組み合わせて3月中旬から4月中旬にかけて連続的に決定していく作業で

授業始まり、ほっと一息

静岡産業大学 鷺崎学長に聞く

では、①入学式の中止、そして、2年生以上については、②履修ガイダンスの中止、③健康診断は3密を避けての実施、を決定しました。一方、新入生履修ガイダンスは履修登録をする上で必要なことから、3密を避けてオリエンテーションと健

く、会議型オンライン、オンデマンド型、課題提出など5つの授業パターンを決め、教員は自分の授業をどれでやるか申告制にすることとし、教務部からのガイドラインを4月9日に提示しました。また、この日の決定に基づき、3月30日、「健康、安全・安心」を最優先したこれまでの取組と今後の方針・具体の対応について、全ての学生と教職員に対して学長メッセージを発出しました。

期して5月7日の連休明けと決定しました。同時に出型など5つの授業パターンを決め、教員は自分の授業をどれでやるか申告制にすることとし、教務部からのガイドラインを4月9日に提示しました。また、この日の決定に基づき、3月30日、「健康、安全・安心」を最優先したこれまでの取組と今後の方針・具体の対応について、全ての学生と教職員に対して学長メッセージを発出しました。

生の内構への立入り禁止も決定しましたが、問題はスポーツ関係でした。静岡県ではほとんど感染者が出ていない状況だったため、スポーツ指導者の意識は低く、運動施設への立ち入り禁止には相対抗が大きかったと聞いています。本学では、全学組織として「スポーツ振興部」を立ち上げており、今回は同部がガイドラインの作成と各運動部への説得を行いました。

——決定に際して気にしたことはなんですか。

3月中旬から4月下旬頃までの意思決定は、決断を間違えれば、私たちがのような中堅の地方私立大学は路頭に迷うかもしれない、クラスターを生み出してしまつて地域の方々から鋭い非難を浴びるかもしれない等々、そうした恐れを感じながらの日々でした。

——当時の決断をどのように評価しますか。

3月中旬から4月下旬頃までの意思決定は、決断を間違えれば、私たちがのような中堅の地方私立大学は路頭に迷うかもしれない、クラスターを生み出してしまつて地域の方々から鋭い非難を浴びるかもしれない等々、そうした恐れを感じながらの日々でした。

すと、リスク対応会議で集中して検討し、決定事項を教職員が危機意識を持って積極的に実行してくれる体制がとり得たこと、「ICT研究機構」、各キャンパスの「ICT委員会」が教員とです。頑張った者と手を抜いた者をしっかりと見極めて評価し、それを報酬や待遇に繋げていかなければ、組織は長続きしないと感じています。

康診断を実施しました。新1年生のオリエンテーション実施を決めたこと、後に感染が拡大し、実施チャンスがなくなつたことを考えますと、正しい決定だったと思えます。新1年生は、これによって基礎セミナーのクラスの担当教員や、同じ1年生と顔を合わすことができませんでした。

4月7日の第3回会議は、ある意味で山場となりました。この日に非常事態宣言が出されたため、宣言地域からのキャンパス入構禁止、宣言地CTが得意な教員が7人ほどおりました。この教員を中心に、各教員個別に徹底的なサポートを任じた決定は厳しいもの

4月7日の第3回会議は、ある意味で山場となりました。この日に非常事態宣言が出されたため、宣言地域からのキャンパス入構禁止、宣言地CTが得意な教員が7人ほどおりました。この教員を中心に、各教員個別に徹底的なサポートを任じた決定は厳しいもの

研修会を行いました。各教員の危機意識によって組織全体での難局を乗り切ったと思います。さらに、この日の会議では、5月6日までの学

支援金は事務局の精力的な作業のお陰で、5月13日から現金書留で保護者宛に配達され始め、5月26日に配達・受取りの98%が完了しました。保護者から丁寧な感謝の言葉が寄せられたこともあり、大学の誠意は届いていると感じます。また、学生アンケートの中間集計結果を見る限り、オンライン授業への大きな反対はありません。

——当時の決断をどのように評価しますか。

3月中旬から4月下旬頃までの意思決定は、決断を間違えれば、私たちがのような中堅の地方私立大学は路頭に迷うかもしれない、クラスターを生み出してしまつて地域の方々から鋭い非難を浴びるかもしれない等々、そうした恐れを感じながらの日々でした。

——当時の決断をどのように評価しますか。

3月中旬から4月下旬頃までの意思決定は、決断を間違えれば、私たちがのような中堅の地方私立大学は路頭に迷うかもしれない、クラスターを生み出してしまつて地域の方々から鋭い非難を浴びるかもしれない等々、そうした恐れを感じながらの日々でした。